



2026 年 10 月 30 日
J R 北海道 釧路支社

2026 年度「くしろ湿原ノロッコ号」の運行実績について

4 月 25 日から運転を開始した「くしろ湿原ノロッコ号」は、10 月 9 日・10 日のラストランをもって運転を終了しました。今年度の運行期間中は 140 日間・398 本を運行し、約 69 千人のお客様にご利用いただきました。

今年度の「くしろ湿原ノロッコ号」の実績は以下のとおりです。

1 ご利用状況

	本年度実績 ※1	対前年度	
		実 績	比 較
運行日数(日)	140	130	108%
運行本数(本)	398	364	109%
乗車人数(人)	69,589	58,465	119%
1列車あたりの 乗車人数(人)	175	161	109%

※1 ノロッコ川湯温泉号、よくばりノロッコ号、夕陽ノロッコ号・ラストラン2日間を含む

2 運行期間中の取り組み

(1) 出発式の開催(4月25日)

運転初日には出発式を開催しました。出発式では、釧路町様よりご提供いただいた釧路町産昆布を使用した「コンブカット」を実施しました。

塘路駅では標茶町の皆さまによるお出迎えやノベルティ配布を実施していただきました。



< 出発式の様子 >



< 塘路駅でのおもてなし >

(2) 釧路町遠矢小学校の児童による「ちびっこ一日駅長」の実施（6月20日）

釧路湿原駅にて「ちびっこ一日駅長」のイベントを実施しました。くしろ湿原ノロッコ2号到着時のお出迎え、車内でのガイドやノベルティ配布等でご乗車のお客様へおもてなしを実施しました。釧路湿原駅ではご当地キャラクター「ガッホくん」にも登場していただきました。



3 ノロッコ号のバリエーション運行

(1) 「ノロッコ川湯温泉号」の運転（6月6日、6月27日、9月19日）

エゾイソツツジの見頃である6月に2回と、秋の気配が近づく9月に、川湯温泉駅まで区間を延長する「ノロッコ川湯温泉号」を運転しました。

標茶駅と川湯温泉駅では地域の皆さまによる特産品の販売、ご当地キャラクター「牛山豚彦」によるおもてなしを実施していただいたほか、川湯温泉駅からはレンタサイクルで硫黄山や温泉街への散策もお楽しみいただきました。

6月6日の運転時には釧網線沿線の郵便局とタイアップしたイベントを実施し、川湯温泉駅では日本郵便キャラクターの「ぽすくま」にも登場していただきました。また、6月27日と9月19日の運転時には標茶高校の生徒による観光ガイドも実施していただきました。



＜標茶高校生徒によるガイド＞



＜標茶駅でのおもてなしの様子＞



＜弟子屈町「牛山豚彦」と日本郵便「ぽすくま」＞



＜川湯温泉駅でのおもてなしの様子＞

(2)「よくばりノロッコ号」の運転（8月10日～14日）

下り（釧路行き）の釧路湿原駅で1時間停車する「よくばりノロッコ号」は例年ご好評をいただいております、昨年度に引き続き今年度もお盆期間に5日間運転しました。

釧路湿原駅の停車時間では、釧路町の皆様による特産品の販売やキッチンカーの出店、お身体の不自由なお客様やご高齢者向けの無料送迎者（細岡展望台行き）の運行等を実施していただき、多くのお客様にお楽しみいただきました。



＜釧路湿原駅前の出店＞



＜細岡展望台の様子＞

(3)「夕陽ノロッコ号」の運転（9月20日～30日）

当初11日間運転予定の夕陽ノロッコ号でしたが、車両不具合により計2日間（9月27日・28日）が運休となりました。

今年度は天候に恵まれ、運転した9日間のうちほとんどの日で美しい夕日や夕焼けをお楽しみいただきました。車内では釧路夕焼け倶楽部の皆さまによる夕日ガイドや夕日グッズの販売を行っていただいたほか、釧路駅では「ゆうひっぴい」・塘路駅では「ミルクックさん・ハッピーくろべえ」によるお出迎え・お見送りも実施していただきました。



＜岩保木水門と夕焼け＞



＜塘路駅でのおもてなし＞



＜釧路駅「ゆうひっぴい」のお見送り＞



＜釧路夕焼け倶楽部様によるガイド＞

4 「くしろ湿原ノロッコ号」ラストラン

(1) ラストラン1日目「ノロッコ川湯温泉号」(10月9日)

1日目の「ノロッコ川湯温泉号」では、沿線地域の皆さまによる様々なおもてなしを実施していただきました。釧路駅・標茶駅・川湯温泉駅ではこれまでご協力いただいていた沿線のご当地キャラクターの皆さまに登場していただいたほか、標茶駅・川湯温泉駅では特産品販売やノベルティ配布を実施していただきました。あわせて、各駅で沿線地域の皆さまによる温かいお出迎え・お見送りをしていただきました。

また、ノロッコ号車両が弟子屈町にやってくるのはこの日が最後のため、下りの川湯温泉駅出発にあわせて、弟子屈町副町長の吉備津民夫様による出発合図を執り行いました。



< 釧路駅でのお見送り >



< 標茶駅でのお見送り >



< 川湯温泉駅でのお出迎え >



< 吉備津副町長による出発合図 >

(2) ラストラン2日目「くしろ湿原ノロッコ2号・1号」(10月10日)

「くしろ湿原ノロッコ号」最後の運転日にあわせ、釧路駅出発前に「ラストラン出発セレモニー」を実施しました。セレモニー内では、沿線地域の首長等の皆さまから車掌・ノロッコ号ガイド・釧路駅長への花束贈呈が行われ、また釧路発車にあわせて標茶町町長(当時)の佐藤吉彦様による出発合図を執り行いました。

東釧路駅・釧路湿原駅・塘路駅の各駅では沿線地域の皆さまによるお出迎え・お見送りを実施していただいたほか、塘路駅では標茶町の皆さまによるノベルティ配布も行っていました。沿線や各駅に訪れた多くの鉄道ファンの皆さま・沿線地域の皆さまに見送られ、「くしろ湿原ノロッコ号」は10月10日をもって、37年の歴史に幕を閉じました。



< 花束贈呈 >



< 佐藤町長(当時)による出発合図 >



< 別れを惜しむ鉄道ファンの皆さま >

「くしろ湿原ノロッコ号」最終運行の1年、大変多くのお客様にご乗車いただきました。

37年間の長きにわたってご愛顧いただき、誠にありがとうございました。